

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦

「駅業務執行体制の再構築について」の提案を受ける！

12月25日横浜支社より「駅業務執行体制の再構築について」の提案を受けました。また30日には同提案の修正提案を受けました。

グループ経営ビジョン「勇翔2034」の実現に向け、効率的でより生産性の高い駅業務執行体制を構築し、当社グループの持続的な成長につなげていくため、駅業務執行体制の見直し、また「2025年度駅業務執行体制の再構築について」については、上記と合わせ実施するとしています。

1. ホーム業務体制の見直し 並びに箇所体制について

- (1) 実施箇所 湘南・相模統括センター（平塚駅・国府津駅）－1轍
小田原・伊豆統括センター（熱海駅・伊東駅）－1轍

※平塚駅 伊東駅については、体制の変更はない。

- (2) 実施日 2026年4月1日

（駅社員と乗務員による車内貫通の実施については、2026年3月14日からとする。）

- (3) その他 必要な周知・教育は実施する。

2. 乗降終了表示の省略

- (1) 実施箇所(再掲) 川崎統括センター（武蔵小杉駅）

- (2) 実施日 2026年4月1日

（乗降終了表示の省略については、2026年3月14日からとする。）←修正

特徴的な内容

【駅業務執行体制の再構築について】

組合側

会社側

・出面数が減るが熱海駅と国府津駅にホーム要員は残るのか。	・熱海駅は無人になることはないが、国府津駅は不在の時間もある。
・点検後に再乗車された場合の対応・教育はどのようにしていくのか。	・必要な教育は行っていくが、これまでとは基本的な取扱いは変わらない。
・熱海でJR東海の回送列車の取り扱いはどうなるのか。	・現行通り駅社員が行っていく。
・4駅(平塚・国府津・熱海・伊東)で施策を実施する理由は何か。	・同じライン管理の中で取り扱いが似ていて、同じような取り扱いができるためである。
・教育はいつ頃から行う予定でいるのか。	・1月頃から訓練を行えるようにしたい。
・ダイヤ改正と実施時期が異なるのは何故か。	・改正後の検証期間をもうけるため時機が異なっている。

【武蔵小杉駅の乗降終了表示の省略について】

・ホームに社員は残るのか。	・常駐はしない。異常時は改札社員が駆けつける。
・終電の乗降終了表示の掲出はどうなるの。	・指定駅であるため、掲出を引き続き行っていく。
・1徹減ったが、改札に増やすのか。	・箇所の作業については、箇所内で決めていく。
・ご利用されるお客さまが非常に多い駅だが、ガードマンの配置はあるのか。	・ご利用が多い駅ということは認識している。必要な体制については、様子を見ながら検討していく。

【分割作業の見直し】←修正

以下の駅において分割時の小移動を廃止する。

・東海道線 平塚駅・国府津駅 ・横須賀線 逗子駅

お客様の安全や作業への不安を解消に向け、
東日本ユニオンと共に声を出していこう！！